

# プレミアグループのDX戦略 2025

プレミアグループ株式会社  
証券コード:7199(東証プライム)



# Contents

---

01

## ミッション・ビジネスモデルとDXの関わり

- 01-1 当社グループのミッション
- 01-2 中期経営計画
- 01-3 中期経営計画の重要課題とDX

02

## 当社のDX戦略

- 02-1 当社グループを取り巻く環境
- 02-2 2021-DX戦略からの軌跡
- 02-3 DXビジョン
- 02-4 DXの全体像
- 02-5 DX-コアビジネス戦略
- 02-6 DX-組織
- 02-7 DX-教育
- 02-8 DX-基盤

03

## DX投資と推進指標

- 03-1 投資方針と推進指標

04

## ガバナンス

- 04-1 DX推進体制図
- 04-2 情報(サイバー)セキュリティへの取り組み

# 01

## ミッション・ビジネス モデルとDXの関わり

### Mission & Business model

We will now explain our mission, business model and how it relates to our digital transformation strategy.

#### **デジタルガバナンス・コード「1. ビジョン・ビジネスモデル」**

企業は、ビジネスと IT システムを一体的に捉え、デジタル技術による社会及び競争環境の変化が自社にもたらす影響（リスク・機会）を踏まえた、経営ビジョンの策定及び経営ビジョンの実現に向けたビジネスモデルの設計を行い、価値創造ストーリーとして、ステークホルダーに示していくべきである。

## 01-1 当社グループのミッション

2007年の創業から、変わらずに掲げているミッションは以下の通りです。



**世界中の人々に最高のファイナンスとサービスを提供し、  
豊かな社会を築き上げることに貢献します**

ファイナンス機能とサービス機能をさらに向上させ、  
それをグローバルに展開していくことにより、豊かな社会を作り上げていく



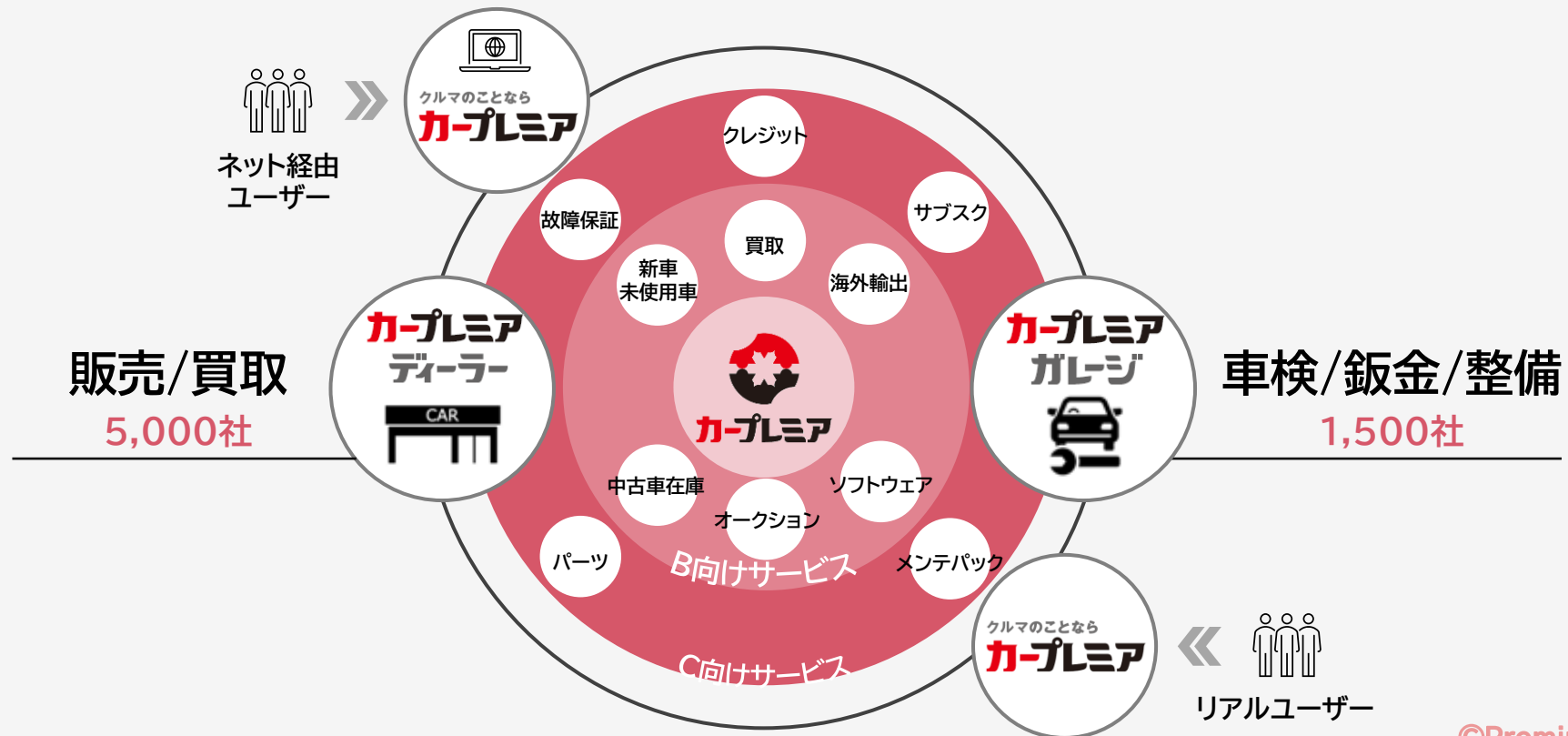
**常に前向きに、一生懸命プロセスを積み上げることでできる  
心豊かな人財を育成します**

やる前から「できない、無理だ」と諦めずに、突き抜けた発想と強い志を持って  
イノベーションを促進し、自ら次のステージを切り開いていく





## 01-2 中期経営計画

前中期経営計画の3年間が終了し、2023年5月に新たな中期経営計画へ移行しました。  
長期ビジョンである「ONE & ONLY 唯一無二のオートモビリティ企業」を目指す過程として、  
進行中の中期経営計画で掲げる中期ビジョン「**カープレミア事業のモデル確立**」は下記の通りです。

中期ビジョン - カープレミア事業モデル - ユーザー／カープレミアクラブ会員は、カープレミアであらゆるモビリティサービスを楽しむ



## 01-3 中期経営計画の重要課題とDX(カープレミア事業)

マテリアリティ		DXによる重点施策
 カープレミア	カープレミアクラブの拡大と、ブランド/ 集客力の強化	ネット経由とリアル両面でのエンドユーザーとの 接点の創出、集客力の強化
 ファイナンス事業	カープレミアディーラーを拡大し、加盟店当たりの 取引量増加と、DX推進による業務効率化の実現	
 故障保証事業	第三者保証市場の拡大を目指して自社商品中心 に拡販し、修理原価の低減/DX推進による業務効 率化を推進	
 オートモビリティ サービス事業	カープレミア事業の確立に向けて、 モビリティサービスの拡充と差別化商品を開発	

## 01-3 中期経営計画の重要課題とDX(カープレミア事業)

### マテリアリティ

### DXによる重点施策



カープレミア

カープレミアクラブの拡大と、ブランド/  
集客力の強化



ファイナンス事業

カープレミアディーラーを拡大し、加盟店当たりの  
取引量増加と、DX推進による業務効率化の実現



故障保証事業

第三者保証市場の拡大を目指して自社商品中心  
に拡販し、修理原価の低減/DX推進による業務効  
率化を推進



オートモビリティ  
サービス事業

カープレミア事業の確立に向けて、  
モビリティサービスの拡充と差別化商品を開発

DX人財の育成、DXへの継続的な投資による  
業務イノベーションで生産性と従業員の幸福度  
の向上を図る

## 01-3 中期経営計画の重要課題とDX(カープレミア事業)

### マテリアリティ

### DXによる重点施策



カープレミア

カープレミアクラブの拡大と、ブランド/  
集客力の強化



ファイナンス事業

カープレミアディーラーを拡大し、加盟店当たりの  
取引量増加と、DX推進による業務効率化の実現



故障保証事業

第三者保証市場の拡大を目指して自社商品中心  
に拡販し、修理原価の低減/DX推進による業務効  
率化を推進



オートモビリティ  
サービス事業

カープレミア事業の確立に向けて、  
モビリティサービスの拡充と差別化商品を開発

- ① エンドユーザーの利便性、モビリティ事業者\*の  
経営効率を高める
- ② 次世代オートモビリティサービスに対応する  
新規事業の創出

\*モビリティ事業者…当社グループの重要な顧客である  
中古車販売店及び自動車整備工場を指します。



# 02

## 当社のDX戦略

### Our DX Strategy

We will now explain our digital transformation strategy.

#### **デジタルガバナンス・コード「2. 戦略」**

企業は、社会及び競争環境の変化を踏まえて目指すビジネスモデルを実現するための方策としてデジタル技術を活用する戦略を策定し、ステークホルダーに示していくべきである。

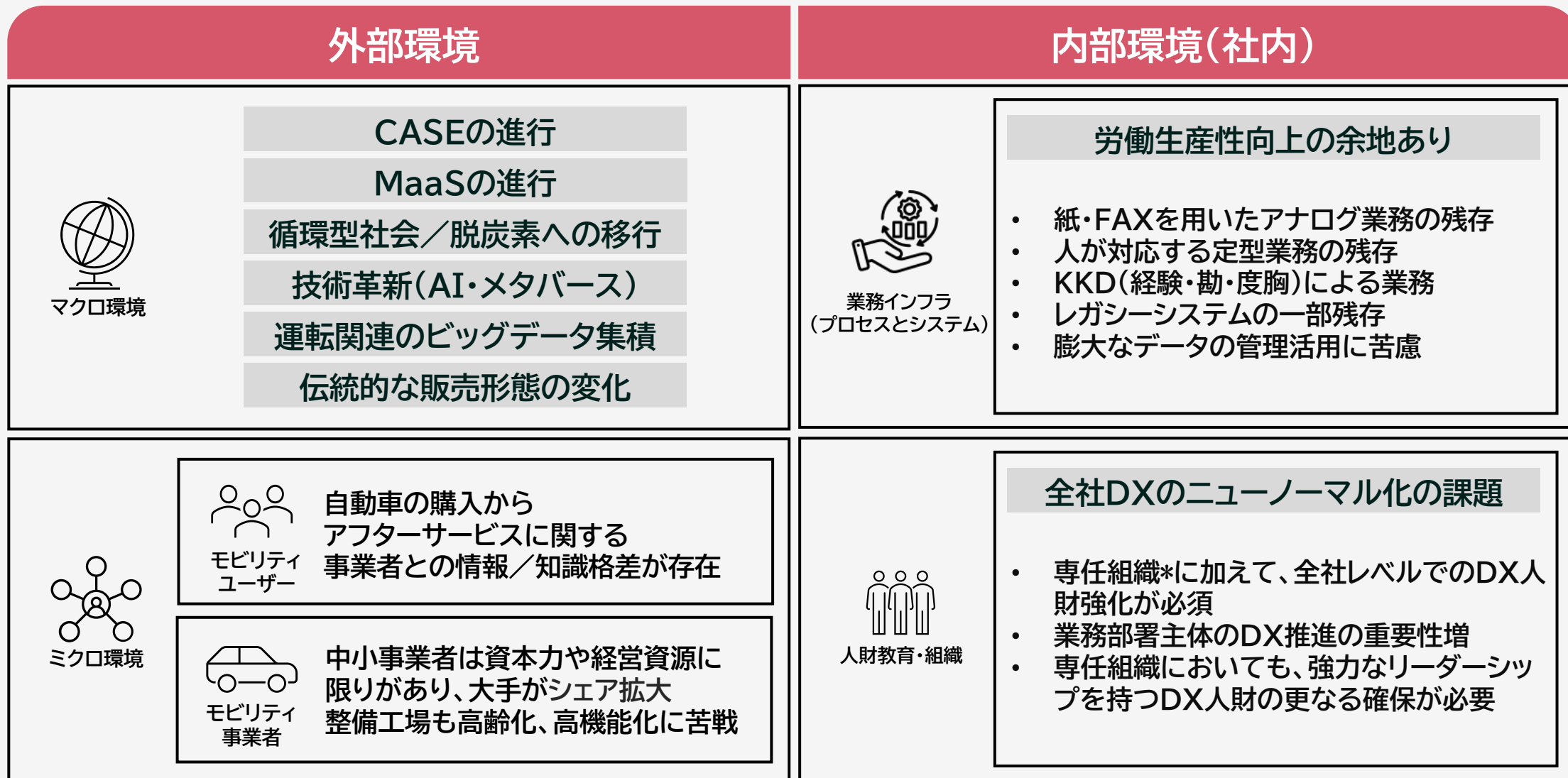
#### **2-1.組織づくり・人材・企業文化に関する方策**

企業は、デジタル技術を活用する戦略の推進に必要な体制を構築するとともに、組織設計・運営の在り方について、ステークホルダーに示していくべきである。その際、人材の育成・確保や外部組織との関係構築・協業も、重要な要素として捉えるべきである。

#### **2-2. IT システム・デジタル技術活用環境の整備に関する方策**

企業は、デジタル技術を活用する戦略の推進に必要な IT システム・デジタル技術活用環境の整備に向けたプロジェクトやマネジメント方策、利用する技術・標準・アーキテクチャ、運用、投資計画等を明確化し、ステークホルダーに示していくべきである。

# 02-1 当社グループを取り巻く環境



\* DXの推進をミッションとする専任組織

## 02-2 2021-DX戦略からの軌跡

DX戦略を公表した2021年5月からの取り組みを振り返ると、下記の通りです。

2021/05 DX戦略の公表・営業部門へのDaaS導入

2021/12 RPA導入による業務改善(生産性向上と働き方改革)

2022/06 AI導入によるクレジット審査の自動化

2022/07 「クルマのことならカープレミア」サイトオープン

2022/11 ノーコード開発ツールの導入

2023/08 「クルマのことならカープレミア」機能拡充

2023/12 故障保証オンライン申込開始

2024/04 生成AIの導入

DXビジョン  
の実現へ

2024/05  
DX注目企業  
Digital Transformation

選定  
(3年連続)

## 02-3 DXビジョン

当社は継続して以下のビジョンを掲げ、DXを推進していきます。

個々が輝くチームから成るプラットフォームとして、  
エンドユーザー、モビリティ事業者と「プレミアム」なカーライフを共創する



# 02-4 DXの全体像

## 中期経営計画



カープレミア

カープレミアクラブの拡大と、  
ブランド／集客力の強化



ファイナンス

- ・CPD\*の拡大
- ・加盟店当たりの取引量増加
- ・DX推進による業務効率化



故障保証

- ・第三者保証市場の拡大  
- 自社商品中心に拡販
- ・修理原価の低減
- ・DX推進による業務効率化



オートモビリティ  
サービス

- ・モビリティサービスの拡充
- ・モビリティ各事業の規模拡大
- ・差別化商品の開発

DX  
Action

## DXビジョン

コアビジネス  
戦略

モビリティ事業者の経営効率を高め、  
エンドユーザーに「安心・便利」をお届け

従業員のWell-being

次世代モビリティサービス(CASE・MaaS)の実現

組織

経営層直下の「DXを推進する専任組織」と  
主要子会社に設置した「DXプロジェクトを推進する部署」  
のハイブリッドで推進

教育

プレミアグループのDXに必要な人財像を定義、教育

基盤

データ集約・アジャイル開発・フルクラウド化・ゼロトラスト

投資方針／推進指標

\*自動車販売店向けの会員組織

# 02-5 DX-コアビジネス戦略

## DX戦略

## コアビジネス戦略

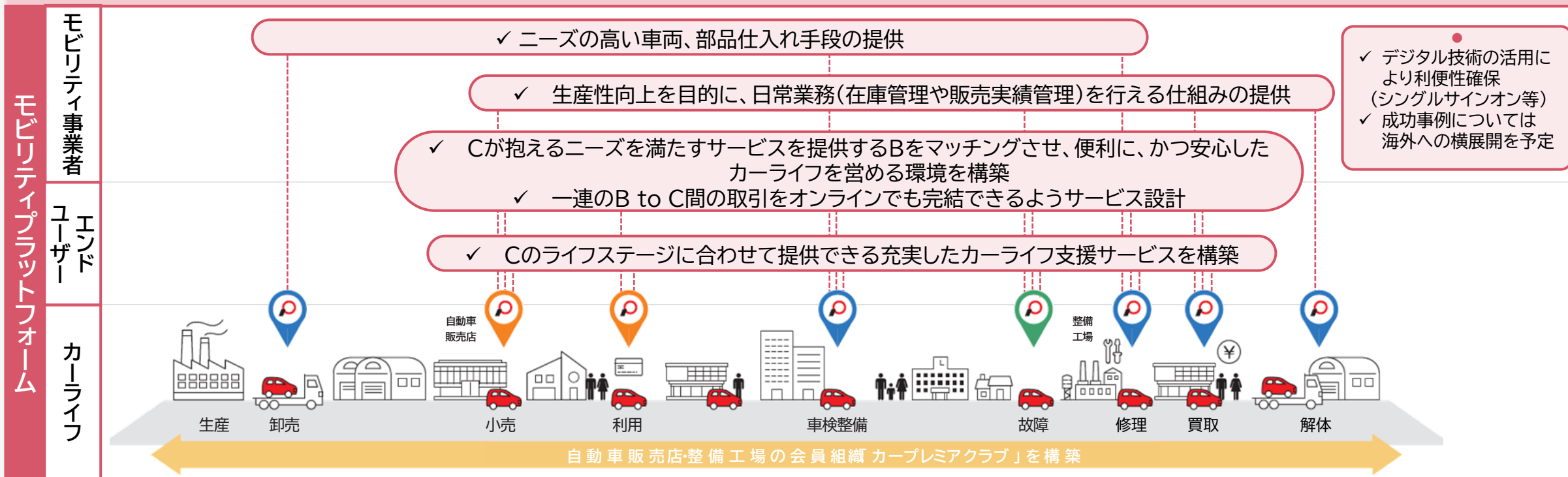
## 組織

## 教育

## 基盤

### 1 モビリティ事業者の経営効率を高め、エンドユーザーに「安心・便利」をお届け

- 一定水準以上のモビリティ事業者(以下、総称して「B」と中古車購入、修理等希望者(以下、総称して「C」)はカープレミアが提供するモビリティプラットフォーム上で、**あらゆるモビリティサービス**を享受できる環境を構築する。
- BとCをリアル/デジタル問わずプラットフォーム上でマッチングする仕組みを提供することで、**取引機会の最大化**を目指す。



# 02-5 DX-コアビジネス戦略

DX戦略

コアビジネス戦略

組織

教育

基盤

## 2 従業員の幸福度(Well-being)を高める



AI活用含むデジタル化による  
業務の省力化/自動化/高度化



BIツールを活用した迅速な  
意思決定の実現



レガシーシステム脱却による  
運用保守負担軽減、  
ビジネスニーズのスピーディな反映

従業員があらゆる制約から解放され、主体性を持った働き方をアシストする

## 3 次世代モビリティサービス(CASE・MaaS)の実現

- 自動車業界の変革にも対応できる**次世代プラットフォームの構築**を目指す。
- EVを購入するお客様に対し、購入、アフターサポートに加え、エネルギーインフラ設備も提供することで、EVの更なる普及および循環型社会形成への貢献を図る。



購入・アフターサポート



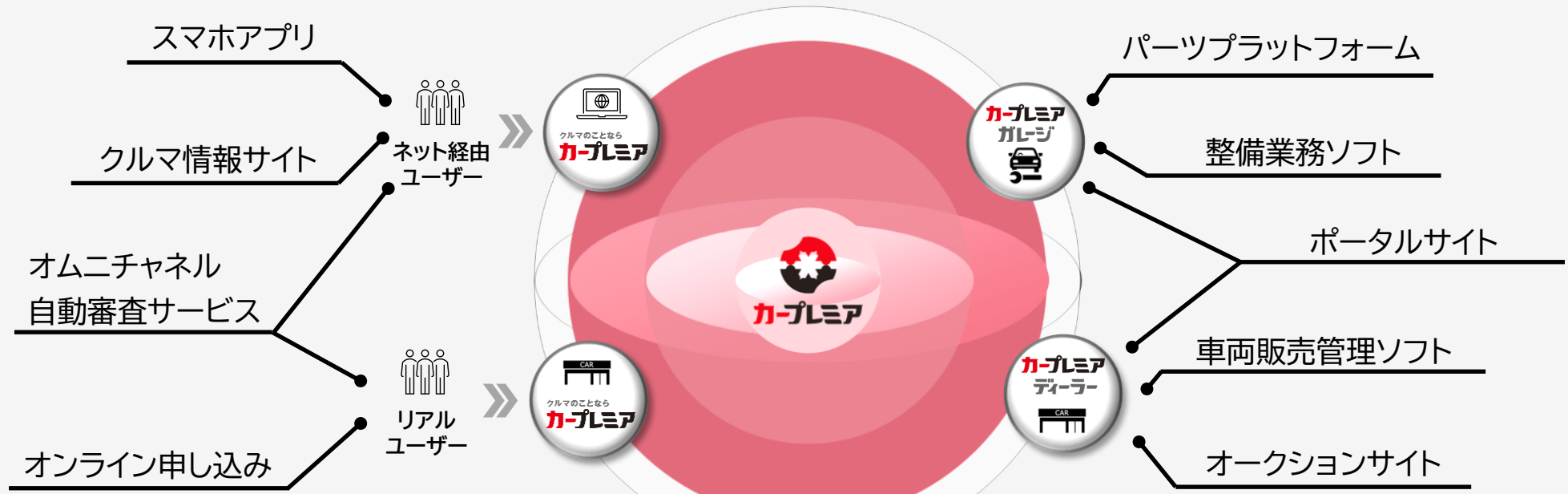
EV普及



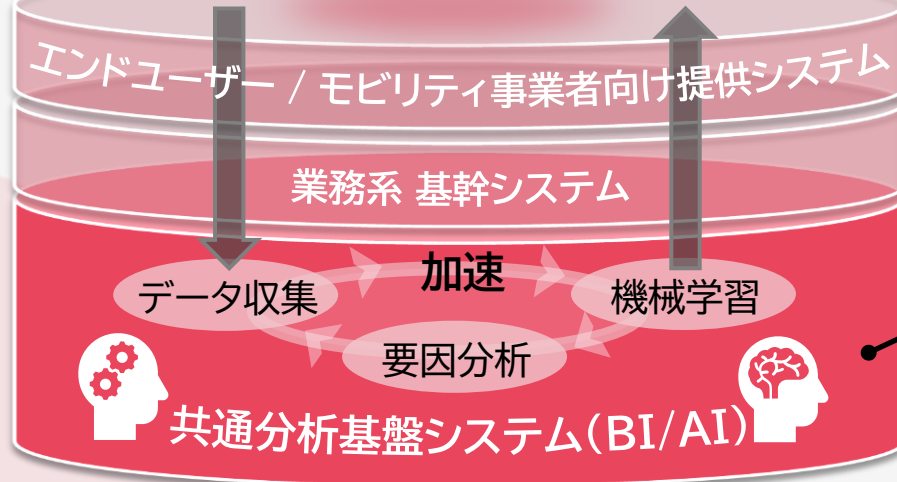
インフラ設備提供

## 2. 当社のDX戦略

### 02-5 DX-コアビジネス戦略(モビリティプラットフォーム構築の取り組み)



#### 既存サービスの省力化・新規ビジネスの創出



経営の意思決定スピード向上  
新規ビジネスアイデアの創出

人財



・Well-Beingの向上

イノベーション



・DXによる業務イノベーション  
・エコシステム構築





# 02-5 DX-コアビジネス戦略(モビリティプラットフォームにおけるエンドユーザー向けアプリ構想)



エンドユーザー

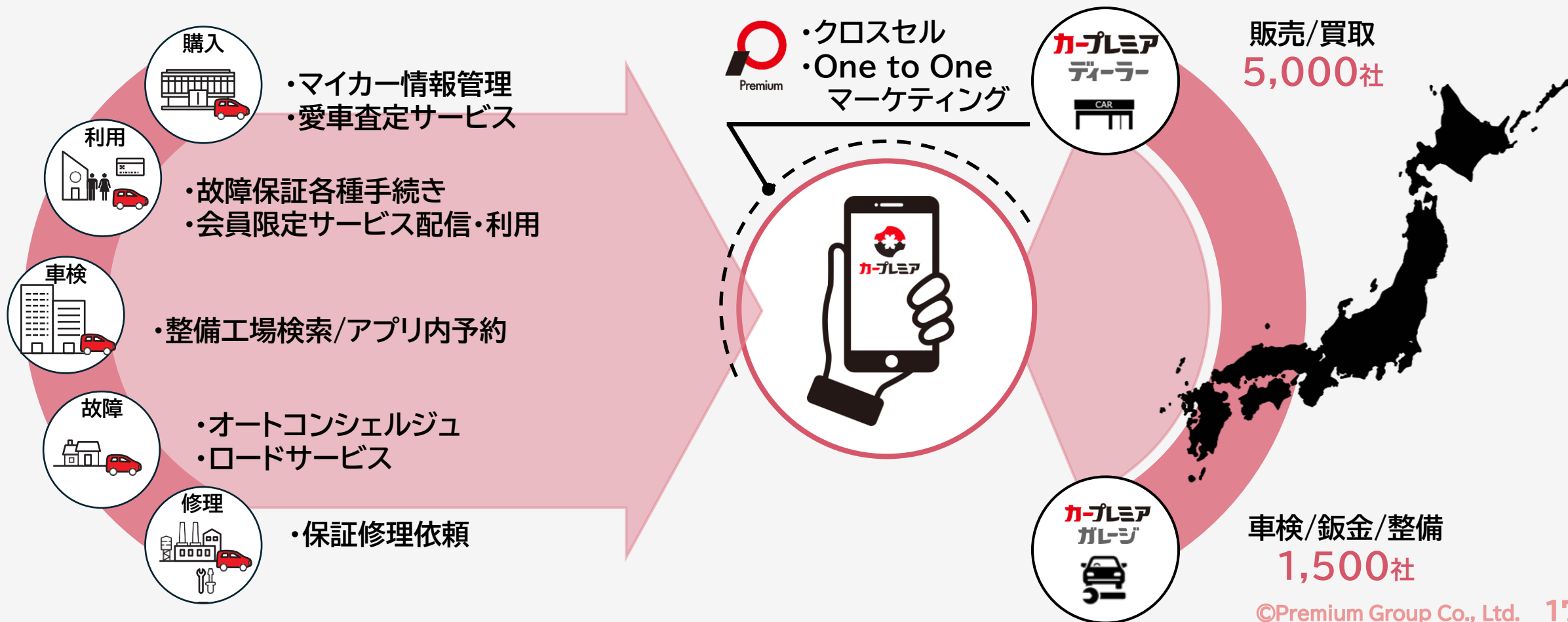
スマホアプリ



モビリティ事業者

マイカーの全てをアプリひとつで

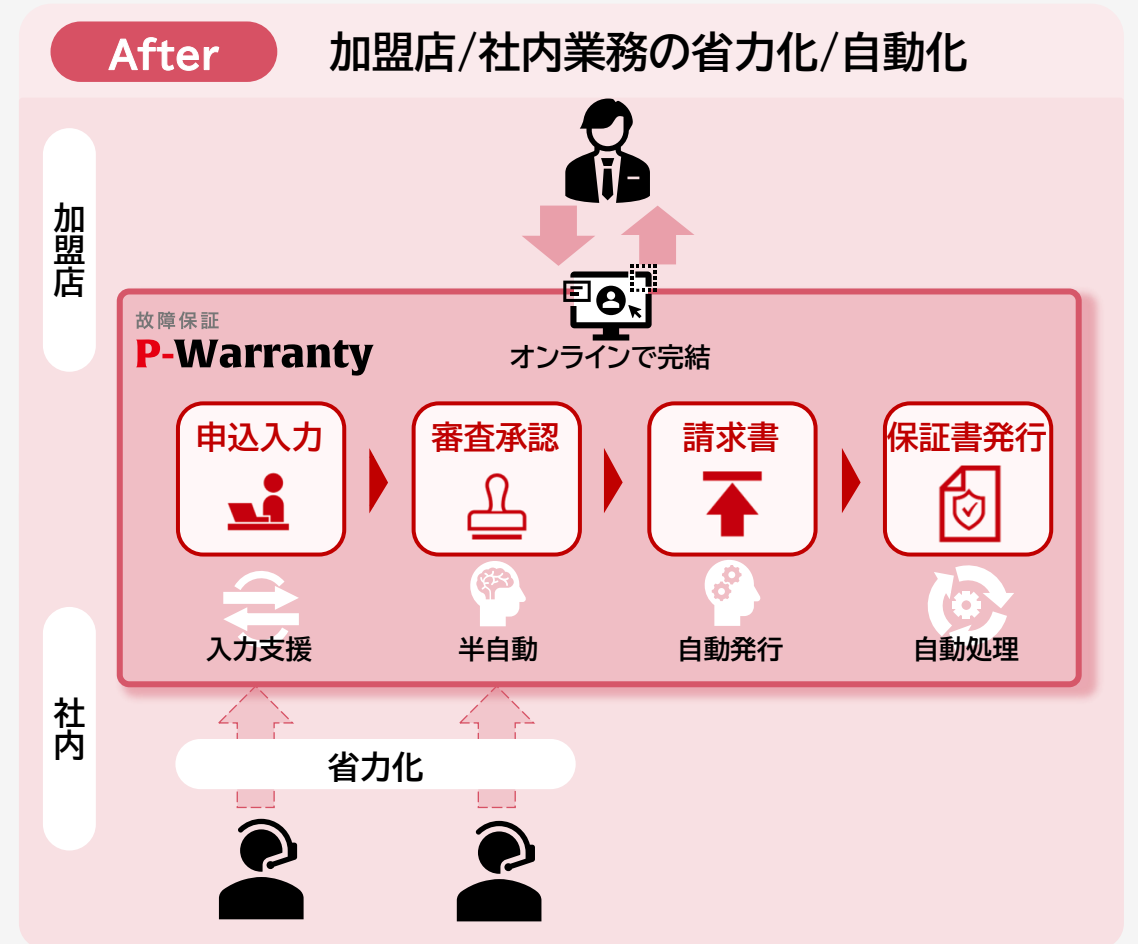
ビジネス機会の創出



## 2. 当社のDX戦略

### 02-5 DX-コアビジネス戦略(故障保証 基幹システム更改によるレガシーシステムからの脱却)

- 故障保証契約時におけるモビリティ事業者の業務負荷を軽減、経営効率の向上を図る。
- 同時に、当社の業務負荷の軽減、故障保証ビジネスの拡大および修理原価の低減も同時に達成する。



## 02-5 DX-コアビジネス戦略 ロードマップ

### DX推進を加速させる取り組み

- ・カープレミア事業モデルの実現に向けた、モビリティプラットフォームの深化
- ・DX人財の育成へ着手
- ・業務システムの更改による生産性、ビジネススピードの向上

### DX実現に向けた基盤づくり

- ・DX戦略の策定
- ・DXを推進する選任組織組成
- ・モビリティプラットフォーム構築着手

1st Stage

2nd Stage

Current location

3rd Stage

### DXビジョンの実現、さらなるイノベーションへ

- ・モビリティプラットフォームの完成
- ・DXによる競争優位性の確立
- ・モビリティプラットフォームにとどまらない、新たなビジネスモデルの創出

DX戦略

コアビジネス戦略

組織

教育

基盤

2つの組織を設置し、相互に協力しながらハイブリッドでDXを推進

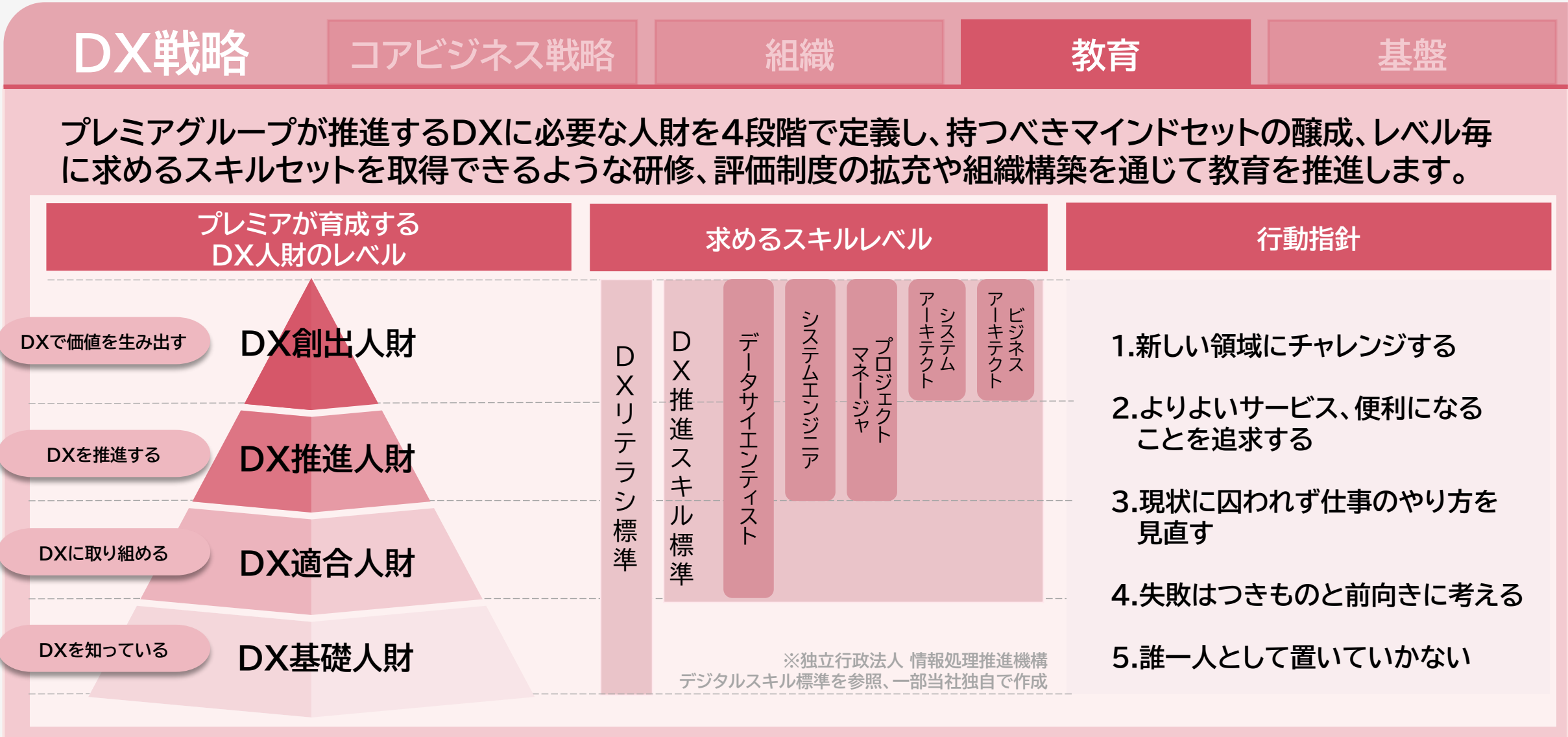
### 1 経営直下に「DXを推進する専任組織」を設置

- ビジネスのスピードに先回りできるような仕組みを最新のIT技術を用いて構築、運営することをミッションとした組織を組成。
- 従来推進してきた事業に捉われない目線で考え、全社的な変革を推進する。
- 最新のデジタル技術の動向をウォッチし、独自の観点からDXを推進する。
- 戦略の推進に必要なスキルを持った人財を全社的に育成する取り組みも実施している。

### 2 主要子会社内にDXプロジェクトを推進する部署を設置

- プロジェクトチームを部署として設置し、オーナーシップを明確化した上で業務改善及び生産性向上をグループ横断で進めている。
- 「変えて終わり」ではなく、継続的な業務改善を行う。
- 事業部門のメンバー、DXを推進する専任組織のメンバーを部署に兼務させることで、相互にリスクリングし、DX人財の育成にも活用している。

# 02-7 DX-教育



### DX戦略

### コアビジネス戦略

### 組織

### 教育

### 基盤

#### 1 データ集約・分析基盤

- ・ フレッシュなデータをスピーディに確認できる環境、多様な分析ニーズに応える基盤を構築し、経営判断を早めることで、事業スピードを加速させる。

#### 2 アジャイル開発

- ・ マイクロサービス化による柔軟な開発環境を実現することで、ビジネス環境の変化や新しいニーズに迅速に対応し、システムを止めることなく新サービスをいち早く提供する。

#### 3 フルクラウド化

- ・ 事業の拡大に合わせ、適切なコストやスピード感でインフラを提供するとともに、利用者である従業員に対して、新しい働き方「WFA(Work From Anywhere at Anytime)」を提供する。

#### 4 ゼロトラスト

- ・ 社内外のネットワークをすべて信用しないことを前提とする、ゼロトラストセキュリティモデルを採用することで、脅威から情報資産を守り企業価値を高める。

# 03

## DX投資と推進指標

### DX Investments & Key Goal Indicator

We present our DX investments and KGI targets.

#### **デジタルガバナンス・コード「3. 成果と重要な成果指標」**

企業は、デジタル技術を活用する戦略の達成度を測る指標を定め、ステークホルダーに対し、指標に基づく成果についての自己評価を示すべきである。

# 03-1 投資方針と推進指標

## DX戦略

投資方針

1

2024～2026年度の3カ年で、15～30億円を投資予定

2

エンドユーザー向け、モビリティ事業者向け、社内業務改革の3領域のDXを並行して進め、プラットフォームのさらなる深化を目指す

推進指標

KPI



業務プロセス改善による  
工数削減率



モビリティプラットフォームの3R

流入率(Inflow rate)  
サービス利用率(Utilization rate)  
継続率(Retention rate)



DX適合人財  
認定社員<sup>※1</sup>の割合<sup>※2</sup>

<sup>※1</sup>: DX推進人財、DX創出人財を含む  
<sup>※2</sup>: プレミアグループ全社員数に対する割合を算出

CSF

中期経営計画の『マテリアリティ』

KGI

中期ビジョン『カープレミア事業モデルの確立』



# 04

## ガバナンス

### Governance

We will now explain our governance,  
digital transformation implementation system.

#### デジタルガバナンス・コード「4. ガバナンスシステム」

- 経営者は、デジタル技術を活用する戦略の実施に当たり、ステークホルダーへの情報発信を含め、リーダーシップを発揮するべきである。
- 経営者は、事業部門(担当)や IT システム部門(担当)等とも協力し、デジタル技術に係る動向や自社のITシステムの現状を踏まえた課題を把握・分析し、戦略の見直しに反映していくべきである。また、経営者は、事業実施の前提となるサイバーセキュリティリスク等に対しても適切に対応を行うべきである。

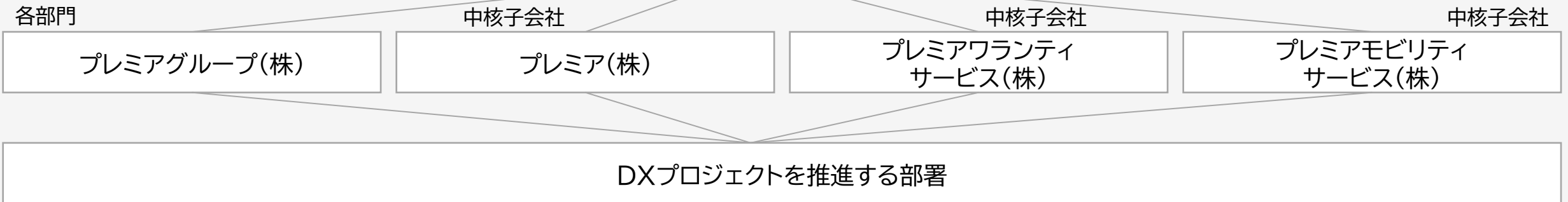
# 04-1 DX推進体制図

当社グループは、代表取締役社長を実務執行総括責任者として配置し、CDO(Chief Digital Officer)がDX戦略を推進し、実行をリードする体制を構築しています。

当社及び各事業を遂行する中核子会社がDX戦略に基づいて施策を推進し、モビリティ事業者やエンドユーザー、その他ステークホルダーに向けて新しい価値を提供します。



新規事業開発、業務プロセス改革、組織の最適化など組織横断で、デジタル技術を活用・推進してデータ主導によるビジネスイノベーションをけん引します。



## 04-2 情報(サイバー)セキュリティへの取り組み

当社グループは、「情報セキュリティポリシー」に基づいて、日々変化する情報セキュリティリスクに対応し、安全で信頼性の高いサービスをお届けすること、および、お客様、お取引様からお預かりした情報資産、また当社グループの情報資産を、様々な脅威から保護することが重要であると認識しています。このような認識の下、情報セキュリティを最重要課題の一つに位置付け、当社グループ一丸となって組織的かつ継続的に情報セキュリティに取り組んでまいります。

